

参加者の皆様へ①

- ✓ 記録や取材のため、会議の様子を撮影、録音します。
- ✓ 動画の一部は、後日、日野市公式YouTubeで配信します。
- ✓ 写真の一部は広報に使用する可能性があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局までお声掛けください。

参加者の皆様へ②

- ✓ 参加者が写真を撮影される場合は、他の参加者の個人を特定できない写真となるようにご配慮をお願いします。
- ✓ 十分ご配慮いただいている場合は、その写真をSNSへ投稿していただいても構いません。
- ✓ 参加者による動画の撮影、録音はご遠慮ください。

傍聴者の皆様へ①

- ✓ 開会前、会議中、閉会後に関わらず、予め定められたエリアでの傍聴をお願いします。
- ✓ 会議中は、発言、私語、拍手等の意思表示を伴う行為は行わないようにお願いします。

傍聴者の皆様へ②

- ✓ 記録や取材のための撮影に、傍聴者も写り込んでしまう場合があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局までお声掛けください。
- ✓ 傍聴者による撮影や録音は、報道・記録など主催者の許可がある場合以外にご遠慮ください。

会場の皆様全員へ

- ✓ 地震、火事等の災害時には、会場のアナウンスやスタッフの指示に従い、落ち着いて行動してください。

日野市気候市民会議（第4回）



令和5年11月5日

開 会

多摩動物公園からのメッセージ

全5回と本日の流れ

全5回の流れ

講義・情報提供・説明

グループワーク

第1回
(8月)

講義：アドバイザー2名

感想と疑問点の共有

第2回
(9月)

情報提供：モノに関わる脱炭素

モノに関わる取り組み

第3回
(10月)

情報提供：モビリティに関わる脱炭素

モビリティに関わる取り組み

第4回
(11月)

情報提供：エネルギーに関わる脱炭素

エネルギーに関わる取り組み

資料確認
投票

提言書（素案）の確認、取り組みの優先順位等を聞く投票

第5回
(12月)

講義：〔調整中〕

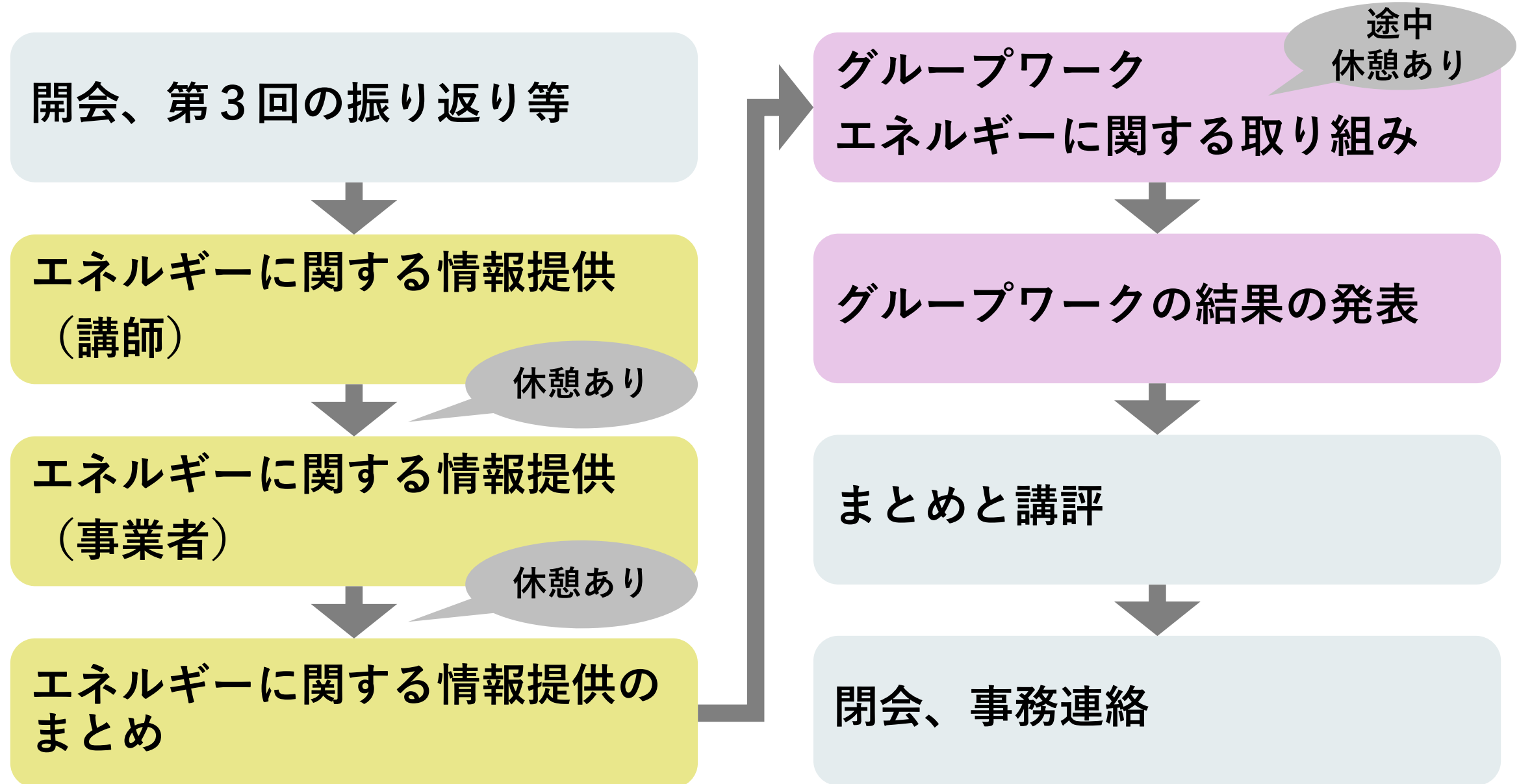
市民、事業者、行政の役割等

資料確認

提言書（案）の確認、意見の募集

取り組みの検討
テーマ別の

本日の流れ



講師等への質問と回答

講師等への質問と回答（一部紹介）

質問	回答（抜粋）	回答者
<p><u>ガソリン車なら10年以上持てば電気自動車より良い</u>ということに関して、もう少し詳しくご説明頂けたら嬉しいです。</p>	<p>10年ではなく、10万「km」走れば環境に良いということになります。ガソリン車のCO₂の排出は走る距離に比例して増えていきますが、<u>電気自動車は走行中の排出が0であるため、10万kmのように距離が長くなればなるほど、電気自動車の方が環境に良くなります。</u></p>	井原氏
<p>以前、ポスターで「<u>インクカードリッジ回収</u>」ではなく、「<u>インクカードリッジ里山活動</u>」と称してリサイクルを呼びかけている例を見ました。そこで、質問ですが、罰や報酬ではなく、このような<u>言葉の表現方法の工夫で成果が出た事例や研究</u>があれば、教えてください。</p>	<p><u>行動科学（又は行動経済学・政治理論など）では、ナッジ理論というものがあり、望ましい行動をとれるよう人を後押しするアプローチ</u>です。</p> <p>ご質問のように、罰や報酬ではなく自発的な行動変容を促します。</p> <p>海外では、<u>バスケットボールに見立てたごみ箱</u>や、スコットランドの大手ブルワリーBrewDogによる、<u>空き缶と自社の株式交換「Cans for Equity（缶と引き換えに株）」によるアルミ缶のリサイクル</u>、カナダのスーパーによる、<u>レジ袋を持ち歩きたくないような恥ずかしいデザインにしてエコバック推進</u>など、多くの事例があるようです。</p>	山口氏

第3回アンケートの結果

第3回アンケートの結果（グループワークに対する感想）

自分自身ですぐ実践できる取り組み

- 小さい取り組みであれば、車に乗る回数を減らして自転車や徒歩にしたり等、市民として、すぐに取り組める事が沢山あるんだなと思いました。早速、実行しています。
- mobility分野に於ける個人として出来ることは、今直ぐ己自身が率先してやらなければならないことを痛感した（他人任せ、他人事と考えていてはダメ）

経済面、高齢化等の課題

- やはり市民が取り組むにあたっては経済面の問題が大きいのだと実感しました。正確には環境問題の解決に向けて、取り組まない人というよりは、取り組めない人へのアプローチが重要になるのかもしれないと考えました。
- 人の高齢化、世帯の高齢化、自治会の高齢化・機能不全はこの問題を考える上でも障害となる基本問題だと感じました。

第3回アンケートの結果（会議に対する意見・提案・質問）

時間配分等

- 今回は時間の配分を工夫していただき、とても良かったと思う。
- 早めに進行してくださろうとする姿勢を感じられました。ありがたかったです。
- グループワークの時間が前回よりゆっくりとれてよかったです
- 今日は時間がたっぷりあって、グループで考えをすり合わせる？ことができました。この時程、有難いです。
- グループワークでの配慮に感謝します。今回は時間も長く例もあったので、私のグループでは今までで一番意見が出たように感じました。

検討する項目

- 事務局に作成してもらった小項目について、重なる項目などがあったため、次回からは模造紙に貼らないで配布していただきたいです。
- ⇒ （回答）説明が不足していましたが、検討項目は貼って剥がせるタイプのシールでとめているだけですので、グループごとにとりまとめがしやすいように、適宜移動していただいて構いません。

質疑応答（5分間）

エネルギーに関する情報提供



プロフィール

芝浦工業大学 副学長
(システム理工学部環境システム学科 教授)

専門は、エネルギーマネジメント工学、
エネルギー政策等。
暮らしの質を落とさずに家庭の脱炭素化を実現する
方策や、地域の課題を解決するエネルギービジネス
モデルを研究しています。

スライド切り替え

質疑応答（5分間）

休憩（14:40まで）

- ※お菓子をお配りします。
ご自由に召し上がりながらご歓談ください。

事業者① 東京ガス（株）

情報提供者プロフィール

東京ガス（株）

東京西支店

副支店長 兼 地域環境コーディネーター

古後 康之 氏

事業者② 富士電機（株）

情報提供者プロフィール

富士電機（株）

エネルギー事業本部

エネルギーマネジメント事業部

カーボンニュートラル推進部

担当部長 笛木 豊 氏

スライド切り替え

休憩（15:20まで）

※ご歓談ください。

疲れた方は合間にストレッチなどをしてみましょう！

エネルギーに関する 情報提供のまとめ

質疑応答（5分間）

グループワーク エネルギーに関する取り組み

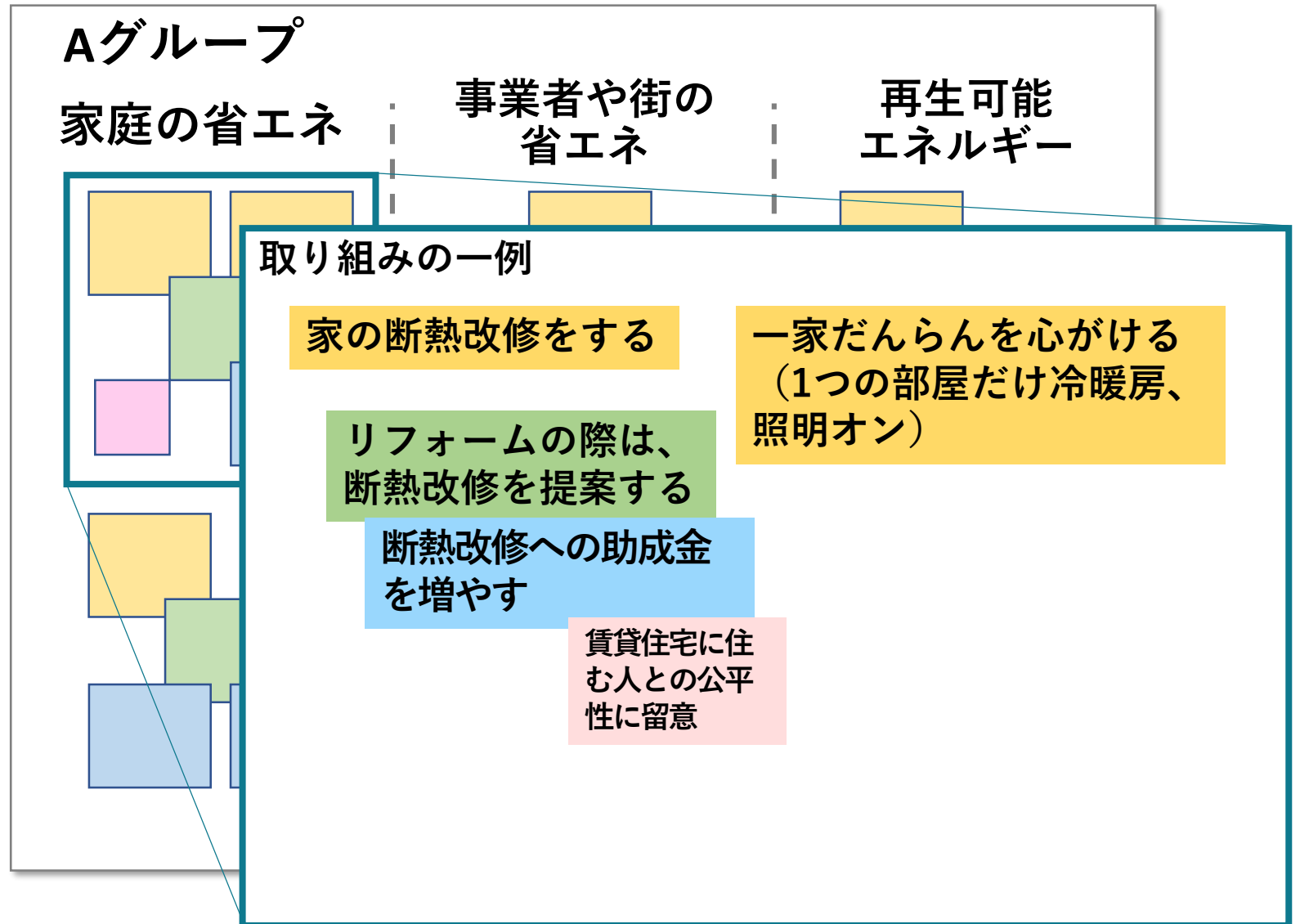
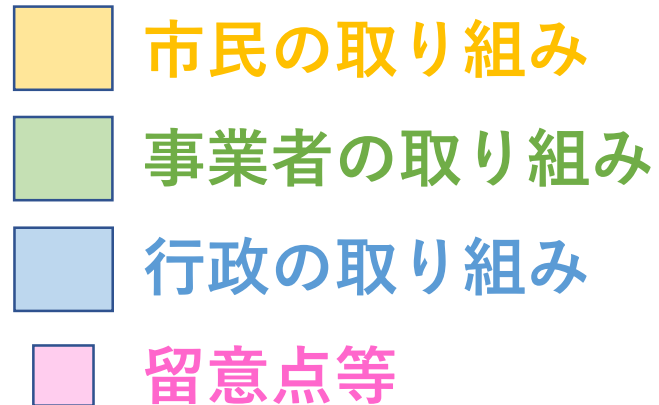
グループワークの成果のイメージ

時間：92分

成果のイメージ

- ・市民の取り組み
- ・事業者の取り組み
- ・行政の取り組み
- ・取り組みのまとめ

※途中5分休憩



グループワークの結果の発表方法

時間：1グループ3分20秒以内ずつ。

方法：模造紙の前で発表。1人でも複数人でもOKです！

発表いただく内容：

- ✓ グループワークの中で特に印象に残った内容、他のグループに伝えたい取り組みなど。
- ✓ 時間内に収まるようであれば全体像をお話いただいてもOKです！
- ※ 模造紙の内容をもとに提言書を作成するため、発表の際に説明が漏れてしまっても全く問題ありません。

グループワークのルール

- ① 対話はキャッチボール。
短く話そう、よく聴こう！
- ② 途中で遮らない。最後まで聴こう！
- ③ 違って当然。違いこそ可能性！
- ④ 寄り道もOK！
でも、何の話し合いが忘れずに。



グループワークの進め方

1. 発表者を決めましょう【2分程度】

2. エネルギーに関する取り組みを付箋に書きましょう【3分程度】

- ※ 1枚の付箋につき1つの取り組み
- ※ 身近な取り組み、2050年脱炭素化に向けた大胆な取り組みの両面で検討

3. 付箋を貼りながらグループ内で共有し、意見交換しましょう【25分程度】

- ※ 同じ取り組みが出てきたら重ねて貼る
- ※ 似たような取り組みが出てきたら近くに貼る

4. 最後に発表に向けたまとめをしましょう【5分程度】

3回繰り返す

- ①市民の取り組み
- ②事業者の取り組み
- ③行政の取り組み

**終了時刻
17:05**

グループワークの結果の発表

グループワークの結果の発表

- ✓ FグループからAグループの順
- ✓ 1グループ 3分20秒以内ずつ

残り30秒

終了

まとめと講評

第5回にむけて

提言の構成（1 ゼロカーボンHINOを実現するための前提となる考え方）

第1回の成果（一部抜粋）

- ・大変な時代に生きている。
- ・教育や政治においてもっと取り上げる必要がある。社会全体が変わっていく必要がある。
- ・経済成長と脱炭素化の矛盾に向き合う必要がある。一方で、経済成長により脱炭素化の技術レベルが上がるという側面もある。
- ・日野市、東京都、国、世界のそれぞれのレベルで考え、すべての人が同じ方向を向いていけるようにしていく必要がある。
- ・市民、事業者、行政が一体となって取り組む必要がある。
- ・現時点でも取り組めることがたくさんある。取り組むことで他の分野に与える良い影響もたくさんある。

第2回以降の成果（一部抜粋）

グループ名	模造紙の位置	付箋の色	手書きの内容
A	啓発方法	市民	正しい理解
B	啓発方法	市民	意識の浸透(時間がかかる)
C	啓発方法	市民	子供の時からもっとわかりやすく勉強すべき
F	啓発方法	市民	親から子へ(大人の影響が大きい)
F	啓発方法	市民	親の価値観は子供に受け継がれる
・	・		・
・	・		・
D	その他	事業者	社会課題×ビジネス
・	・		・
・	・		・

取り組み

環境問題について正しい知識、意識を持つ、変化に対応するように努力する

環境問題について家庭内で子どもに教える

環境問題の解決につながるビジネスを行う、知見や技術を共有する

提言の構成（1 ゼロカーボンHINOを実現するための前提となる考え方）

II 日野市気候市民会議からの提言

I ゼロカーボンHINOを実現するための前提となる考え方

我々は、気候変動をはじめとする環境問題に対し、特別な知識を持っている訳でもなく、特別に意識が高いという訳でもない、一般の日野市民の立場でこの会議に参加しました。

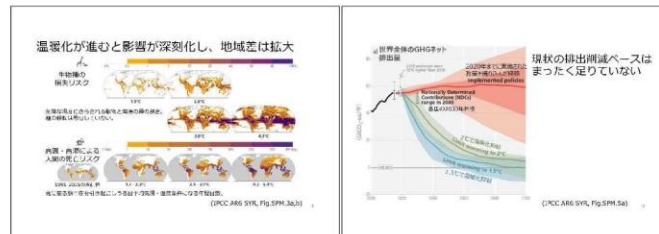
このような一般の日野市民からの視点でも、第1回にアドバイザーからの講義を聞くなかで、大変な時代に生きていることを実感し、大きな危機感を頂きました。同時に、未来の世代のために取り組むべきだと強く感じ、今すぐ行動すべきという考えに至りました。

今後必要となる取り組みについては p.●以降にとりまとめましたが、ゼロカーボン HINO を実現するためには、大前提として下記の考え方が必要だと考えます。

(1) 環境問題を教育や政治で取り上げる

第1回の講義のなかで知った事実がたくさんあります。例えば、気候変動が進むと様々な分野に影響が及ぶこと、その影響には地域差があり原因に責任のない人たち（新興国・途上国などの人たち）が深刻な影響を受けること、現状の温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出削減ペースではまったく足りないことなどです。

我々はこの会議に参加する前までは、このような事実を知りませんでした。そのため、行動に移すことも、声を上げることもできませんでした。このような事実を知らされていなかったこと、知る機会がなかったことに根本的な問題があると考えます。

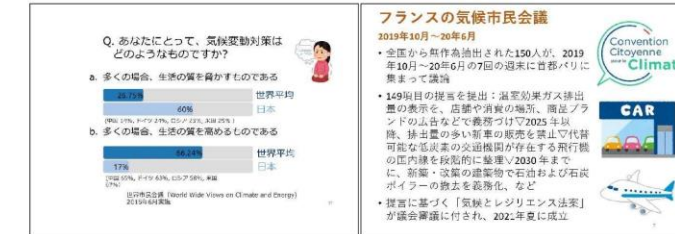


出典：日野市気候市民会議第1回講義資料 気候変動の現状とこれからの社会（江守正多）

また、取り組まなければいけないことが分かっているのに、我々はなぜできない、なぜらないのかという疑問があります。

日本では、気候変動対策=我慢しながら取り組むもの、と考える人が多いようですが、欧米では、気候変動対策=生活の質を高めるもの、と考える人が多いようです。アドバイザーからは、ヨーロッパの国々では、学校での教育以外に大人が参加して議論できる機会（気候市民会議など）がいろいろとあり、社会全体の意識の向上につながっている様子を聞きました。

これらのことから日本でも、すべての人が事実を知り、議論しあい、行動に移すために、教育や政治において、もっとこの問題を取り上げることが重要と考えます。



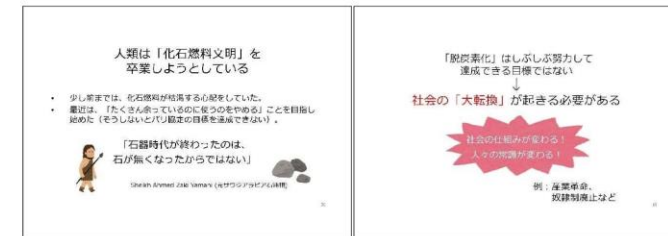
出典：日野市気候市民会議第1回講義資料 気候変動の現状とこれからの社会（江守正多）

出典：日野市気候市民会議第1回講義資料 気候市民会議の意義これから会議に参加する皆さんへ（三上直之）

(2) 社会の「大転換」を起こす

第1回の講義のなかで、「人類は『化石燃料文明』を卒業しようとしている。石器時代が終わったのは、石がなくなったからではない。」という言葉が心にさざりました。これは、化石燃料を使いきる前に、我々の意思で『化石燃料文明』を卒業する必要があるという意味です。

新興国・途上国など、産業や経済との関係から十分な気候変動対策を行うことができない地域もあります。このように、単純に解決できない問題もたくさんあることから、社会全体が変わっていく、つまり「大転換」を起こしていく必要があると考えます。



出典：日野市気候市民会議第1回講義資料 気候変動の現状とこれからの社会（江守正多）

日本では、経済成長のための取り組みが最優先になっていると感じています。経済成長すると二酸化炭素の排出量が増えることにつながりますが、二酸化炭素の排出量を減らすことも同じように重要な問題です。両方の問題の大きさを同等に扱って解決策を検討していく必要があると考えます。一方で、経済成長に伴って二酸化炭素の排出量を減らすための技術レベルも上がる可能性があるため、このことを踏まえながら取り組みを進めていくという視点も必要です。このように、これまでの枠組みにとらわれない社会の「大転換」が必要と考えます。

そのためには、個人レベルだけでなく、日野市、東京都、国、世界のそれぞれのレベルで考えながら、市民、事業者、行政のすべての人がこの問題に向き合い、一丸となって取り組みを始める必要があると考えます。

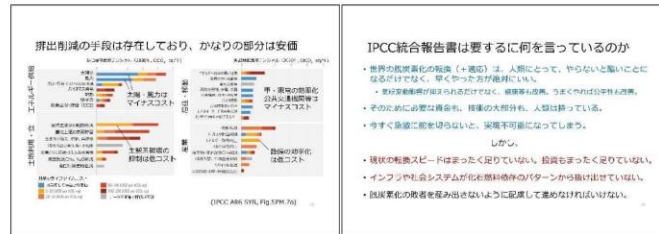
提言の構成（1 ゼロカーボンHINOを実現するための前提となる考え方）

(3) 現時点で取り組めることを洗い出し、すぐにも実行に移す

第1回の講義のなかで、現状より二酸化炭素の排出削減ペースを上げていく必要があること、そのためにはすぐにも取り組みを実行に移す必要があることを知りました。同時に、気候変動対策には、現時点でも取り組めることがたくさんあること、かなりの部分が安価に実行できることを知り、意外に感じました。

前述のとおり、社会の「大転換」を起こすことが大前提となりますが、現時点で取り組めることを洗い出し、すぐにも実行に移していく必要があると考えます。

また、実行することで、気候変動影響が抑えられるだけでなく、健康などの改善にもつながる、うまくやれば公平性も改善されるというように、良い影響がたくさんあることを知りました。様々な社会課題を解決に近づけるという観点からも、様々な取り組みをすぐにも実行に移していくことが重要だと考えます。



出典：日野市気候市民会議第1回講義資料 気候変動の現状とこれからの社会（江守正多）

ゼロカーボン HINO を実現するための市民、事業者、行政の役割（取り組み）

主体	役割（取り組み）
市民	<ol style="list-style-type: none"> ① 環境問題について正しい知識、意識を持つ、変化に対応するように努力する ② 環境問題について家庭内で子どもに教える ③ 環境問題について地域で話す、勉強会をする、詳しい人に質問する ④ 環境に配慮した事業者、環境問題に対して取り組む団体を応援する ⑤ 行政や政治に興味を持ち、環境問題に対する取り組みなどに協力する、説明の場を求める
事業者	<ol style="list-style-type: none"> ① 環境問題の解決につながるビジネスを行う、知見や技術を共有する ② 環境問題に対する取り組みの効果を分かりやすく示す ③ 環境問題に対する取り組みをメディアやCM、SNS、店舗などで発信する ④ 環境問題の周知、啓発につながるCMについては、費用を安く設定する ⑤ 環境問題について知る、取り組むためのイベントを行う
行政	<ol style="list-style-type: none"> ① 環境問題に対する市民や事業者への指導を強化する ② 環境問題に対する市民や事業者の取り組みを広報等で紹介する ③ 環境問題の現状や取り組みを、広報や掲示物、メディア、CM、SNSなどで分かりやすく伝える ④ 環境問題に対してみんなで取り組めるようなキャンペーンを企画する、スローガンをかかげる ⑤ 環境問題を学校教育に取り入れる、行政や地域の大人も学校教育に参加する ⑥ 子どもが環境問題を学ぶことができる施設をつくる ⑦ 市民が環境問題を学ぶ場（セミナー、勉強会など）を増やす ⑧ 市民が環境問題を話し合う場（気候市民会議など）をさらに増やす、少数者、少数派の意見も取り入れる仕組みをつくる ⑨ 事業者と行政が連携して環境問題に対して取り組む ⑩ 市民と事業者、事業者と事業者をつないで環境問題に対して取り組む仕組みをつくる ⑪ 環境に配慮することが得になる仕組みをつくる ⑫ 市民が分かりやすい環境に関する基準をつくる、日野市独自の認証マークをつくる ⑬ 二酸化炭素の排出量を定期的に公表する ⑭ 環境問題に対する市民、事業者の取り組みに助成する ⑮ 議員が環境問題について周知、啓発を行う ⑯ 国が中心となって環境問題に対する取り組みを進める ⑰ ゴミ有料化と同じような大胆な取り組みを行う

提言の構成（2 ゼロカーボンHINOを実現するための取り組み）

グループ名	模造紙の位置	付箋の色	手書きの内容
A	生産と消費	市民	エコで経済的なモノを積極的に取り入れる
A	生産と消費	市民	環境負荷の少ない物の購入
A	生産と消費	市民	原材料にこだわる
A	生産と消費	市民	原材料の産地を知る
A	生産と消費	市民	洗剤系の使い方に配慮
B	生産と消費	市民	服の素材に注目(リネン・コットン土にかえる)
B	プラスチック	市民	プラスチックの代替
D	プラスチック	市民	プラスチックでなく紙容器の食品買う
F	プラスチック	市民	買わないペットボトル×紙パック○
F	プラスチック	市民	ペットボトルのメリットは？値段？紙パックに回
・	・		・
・	・		・
A	生産と消費	事業者	エシカル商品でヒットを狙う！
A	生産と消費	事業者	安さの追求ではない競争
・	・		・
・	・		・

取り組み

環境に配慮した素材（自然由来の素材、脱プラスチックの素材など）、環境に配慮した方法で作られたモノを選択する

プラスチックが使用されていないモノを選択する（プラスチック容器ではなく紙容器に入ったモノなど）

環境に配慮したモノをつくり、売り上げに結び付ける

提言1 環境に配慮したモノを普及させる

提言の構成（2 ゼロカーボンHINOを実現するための取り組み）

提言1 環境に配慮したモノを普及させる

市民の取り組み

- ①環境に配慮した素材（自然由来の素材、脱プラスチックの素材など）、環境に配慮した方法で作られたモノを選択する
- ②プラスチックが使用されていないモノを選択する（プラスチック容器ではなく紙容器に入ったモノなど）
- ③プラスチックが使用されているモノはバイオマスプラスチックなどに置き換わっているモノを選択する
- ④環境認証マークについて調べる、環境認証マークがついたモノを選択する
- ⑤環境に配慮したモノをつくる事業者を応援する

事業者の取り組み

- ①環境に配慮したモノをつくり、売り上げに結び付ける
- ②環境配慮にかかる費用（素材の産地に適正な費用を支払うことを含む）を事業者が負担し、価格に転嫁する（消費者にも負担してもらう）
- ③素材の仕入れから販売までの情報を透明化し、一連の環境配慮に責任を持つ
- ④利益最優先のモノづくりをやめる
- ⑤環境に配慮した素材を開発する
- ⑥プラスチックが使用されていないモノをつくる（プラスチック容器ではなく紙容器に入ったモノなど）
- ⑦環境認証を取得する、環境認証マークの周知、宣伝を行う

行政の取り組み

- ①環境に配慮したモノをつくる事業者を支援する（助成・減税を含む）
- ②環境に配慮したモノをつくる事業者の表彰制度をつくる
- ③環境に配慮したモノをつくる事業者に発注する
- ④モノを作る際の環境情報（二酸化炭素の排出量など）を表示させる
- ⑤モノを作る際の二酸化炭素の排出量に応じた課税をする
- ⑥環境に関する新技術の開発を支援する
- ⑦環境に関する規制、罰則を厳しくする
- ⑧環境認証マークの周知、啓発を行う

提言の構成（2 ゼロカーボンHINOを実現するための取り組み）

モノに関する取り組み

生産と消費

- 1 環境に配慮したモノを普及させる
- 2 環境に配慮した食を普及させる
- 3 モノの生産、消費を減らす
- 4 地産地消を普及させる

販売方法

- 5 環境に配慮した販売方法を普及させる

廃棄、再利用、資源循環

- 6 モノの生産、消費を減らす（再掲）
- 7 食品ロスを減らす
- 8 リユース、リサイクルを進める
- 9 街なかのごみを減らす（海洋プラスチックを減らす）
- 10 ゴミの収集、処理の過程で環境に配慮する

モビリティに関する取り組み

自家用車、社有車、公有車

- 11 自動車の台数を減らす、走行距離を減らす
- 12 環境に配慮した自動車を普及させる
- 13 環境に配慮した運転を普及させる

公共交通機関等

- 14 環境に配慮した公共交通機関を使いやすくする（自家用車や飛行機に依存しない社会）
- 15 新しいタイプの相乗り型交通機関を普及させる（高齢者も移動しやすい社会）

街づくり

- 16 自動車の流れをスムーズにする
- 17 遠くに出かけなくても生活できる魅力的な街をつくる
- 18 地域ごとの特性を踏まえながら、だれもが移動しやすい街をつくる

徒歩、自転車

- 19 徒歩、自転車での移動を増やす（自家用車に依存しない社会）

物流

- 20 モノを運ぶ距離や量を減らす
- 21 地産地消を普及させる（再掲）
- 22 環境に配慮した方法でモノを運ぶ

その他

- 23 二酸化炭素の吸収を進める

取り組み総数⇒233

新しい取り組みを思いついたら (第1回~3回会議までの内容)

BOX>03_提言書>提言書途中経過.docx

v1 日野市気候市民会議_提言書骨子案_231023.docx
提言書・更新日今日、更新者:アオイ環境

開く ダウンロード 共有

アイデアを
反映できます

締め切り
11/19(日)

2 ゼロカーボンHINOを実現するための取り組み (テーマ別)

(1) モノに関する取り組み

1) 生産と消費

提言1 環境に配慮したモノを普及させる

主体	役割 (取り組み)
市民	<ul style="list-style-type: none">① 環境に配慮した素材 (自然由来の素材、脱プラスチックの素材など)、環境に配慮した方法でつくられたモノを選択する② プラスチックが使用されていないモノを選択する (プラスチック容器ではなく紙容器に入ったモノなど)③ プラスチックが使用されているモノはバイオマスプラスチックなどに置き換える④ 環境に配慮したモノを選択する⑤ 環境に配慮したモノを選択する
事業者	<ul style="list-style-type: none">① 環境に配慮したモノを開発する② 環境に配慮したモノを開発する③ 素材の調達に配慮する④ 利益優先のモノづくりをやめる⑤ 環境に配慮した素材を開発する⑥ プラスチックが使用されていないモノを開発する (プラスチック容器ではなく紙容器に入ったモノなど)
行政	① 環境に配慮したモノをつくる事業者を支援する (助成・減税を含む)

クリック
(タップ)

表示するアクティビティはありません

プレビューにカーソルを合わせ、下部のコントロールを使用してフィードバックに注釈を付けることができます。

2 / 2 68%

新しい取り組みを思いついたら (第4回会議の内容)

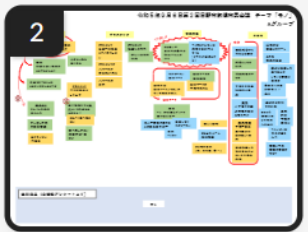
BOX>02_グループ別フォルダ>●_■グループ>第4回GW結果_■グループ.pptx

v1

第2回GW結果_Aグループ.pptx

01_Aグループ・更新日2023年9月14日、更新者: ユーザー

共有



アイデアを反映できます

締め切り
11/19(日)

クリック
(タップ)

表示するアクティビティはありません
プレビューにカーソルを合わせ、下部のコントロールを使用してフに注釈を付けることができます。

追加意見 (会議後アンケートより)

2 / 2 68%

第5回会議までのお願い

1. 提言書（素案）の確認と投票

- ▶ 11月28日（火）までを目途にクラウドサービスへ資料をアップし、投票用のWEBフォームをご案内します。（一部の方にはメール・郵送します）
- ▶ 取り組みの優先順位等の投票をお願いします。
- ▶ また、提言書に追加したい内容、修正したい内容を考えておいていただくと、第5回会議がスムーズに進みます。

2. テーマの選択

- ▶ 第5回会議の際に、①モノ、②モビリティ、③エネルギーのうち、どのテーマの仕上げ作業に関わりたいかご回答をお願いします。
※仕上げ作業に関わることができなかったテーマについても、第5回会議以降に意見を反映する機会があります。
- ▶ 11月28日（火）までを目途に回答用のWEBフォームをご案内します。（一部の方にはメール・郵送します）

**締め切り
12/5(火)**

閉会、事務連絡

事務連絡

1. アンケートの実施（回答は、会議終了後3日以内）

▶ 集計結果は、次回会議等で報告

2. グループワークの結果（模造紙）の共有

▶ 概ね1～2週間後にクラウドサービスへアップ

3. 記録動画（グループワークを除く）の公開

▶ 概ね2～3週間後にYouTubeで配信

4. 次回の会議資料の共有

▶ 概ね次回の会議の1週間前にクラウドサービスへアップ

事務連絡

5. 次回会議

日野市気候市民会議（第5回）

日時：12月10日（日） 13時15分～17時15分

場所：多摩平の森ふれあい館

※当日、記念撮影も行う予定です。

6. 名札は外してファシリテーターにお渡しください

7. 報酬のお渡しについて

- この場でお渡しします。おかけになったまま、お待ちください。引き換えに受領証に氏名をご記入ください。